

新年特別講演会のご案内

グローバル化が進展し、外航海運は世界的な拡大を続ける一方、これまで国内輸送を支えてきた内航海運は船員の顕著な高齢化が進行しています。同時に社会全体に労働環境の向上を図る「働き方改革」が求められ、船舶設備や労働条件が厳しいとされる内航海運の業界はこれまでにない大変革の時代を迎えています。トラック輸送の2024年問題と同じく労働力の急速な減少と、働き方改革による労働環境の大幅な改善の間に立たされている内航海運の問題点と今後の展望を知ることは、同じく若年労働者の確保に苦慮する他の海事産業にも大いに参考となる内容です。今年度の新年特別講演会では、内航海運の業界構造と労働問題を詳細に調査研究されてきた松尾俊彦氏（大阪商業大学・教授）を講師に迎え、内航海運が果たす役割（重要性）と課題を中心にご講演いただくことになりました。少子高齢化が進む現在、あらゆる業界で労働力の確保と魅力ある労働環境の創出が最重要課題となっており、これからの海事産業を議論する機会とすべく、多くの方のご参加をお待ちしております。

記

日 時： 令和7年1月10日（金）15:40～16:40 懇親会 17:30～19:30

場 所： 講演会場 大阪産業創造館 6F 会議室 E
大阪市中央区本町1-4-5（大阪メトロ堺筋本町駅徒歩5分）
懇親会場 羽根つき焼小籠包 鼎's 堺筋本町店
大阪市中央区南本町2-1-11 ライラック南本町ビル 1F（講演会場から徒歩6分）

参加費： 講演会 無料
懇親会 一般4,000円、学生2,000円（当日現金にて徴収します）
※開催日間のキャンセルにつきましては、お店でかかる実費をご負担いただきます。

講演題目： 「日本の内航海運について ―その重要性と課題―」

講 師： 松尾 俊彦（まつお としひこ）氏
大阪商業大学 総合経営学部 商学部 教授

要 旨： 内航海運は長く国内の物資輸送を担い、日本の経済を支えてきたが、少子高齢化社会の進行や働き方改革の導入などにより、深刻な労働力不足をはじめ様々な問題を抱えている。内航海運は外航海運とは異なる産業構造を有しており、問題分析にあたっては内航海運の仕組みや置かれている環境変化などを知る必要がある。松尾教授は内航海運の問題に関して多くの研究実績を有しておられ、新年特別講演会にて内航海運について勉強する機会としたい。

申込締切： 令和6年12月27日（金）→必ず事前にお申込みをお願いします。

申込み先： <https://forms.gle/HzRfg3iCuNsB4ZXp6>

問合せ先 公益社団法人 日本船舶海洋工学会関西支部事務局
TEL：06-6879-7593 FAX：06-6879-7594 携帯電話：070-1305-2902
E-mail： k.office@jasnaoe.or.jp